

# 市民教授 個人票

No. C06

琴(生田流)

澤 俊子 ( さわとしこ )

ゲストティーチャー

住所 316-0026 茨城県 日立市みかの原町 生年 1949 女

TEL 090-6710-2332 Fax 0294-53-7040 E-mail [sawatkoto@sf6.so-net.ne.jp](mailto:sawatkoto@sf6.so-net.ne.jp) 謝礼 相談

指導場所 交流センター、公共施設、その他 相談  
 指導方法 実技  
 バッハやモーツァルト・ビートルズ・日本の童謡、古典の六段まで幅広く学ぶお琴のグループレッスンを初心者から上級者まで、そのグレードに合わせた指導を致します。

自己PR 6歳からお琴を始めました。  
 現在、個人レッスン並びにNHKザ・ヒロサワ・シティー会館(県民文化センター)水戸、いわき教室の講師並びに日立支部、水戸、いわきでグループレッスンを中心にお琴を教えております。

指導中の自主グループ	グループ名	指導場所	会員数	ゲストティーチャー歴
	琴の会	泉が森交流センター	8	
	さくら友の会	日立女性センター	8	

ここ1年~2年間の指導歴	講座名	開催場所	実施回数	参加者数	備考
	たのしいお琴教室	日立女性センター	2	20	
	小学生お琴体験教室	会瀬小放課後子ども教室	1	16	
					その他__件

表彰歴・資格 日本三曲協会所属・茨城県三曲協会常任理事・生田流箏曲・三弦教授

講座のレベル	○ 1:初級(その分野を初めて経験する人を対象)	SNS(フェイスブック、ツイッターなど)のURL
	○ 2:中級(簡単な指導でやっていける程度の人を対象)	
	○ 3:上級(講師を目指す人を対象)	



講座企画者への連絡

# ASA (朝日新聞販売所)は高齢社会を応援します

朝日新聞サービスアンカー

## 「琴の魅力は、和の音色」



東日本大震災復興チャリティーコンサートの様子。中央手前が澤さん、左はプロのバイオリン奏者・堀米ゆず子さん

日立市在住の「箏・三絃 生田流」澤俊子さん(72)は、同市や水戸市、福島県いわき市で、グループレッスンを中心に、琴を教えている。「琴の古典『六段』から日本の童謡、バッハ、モーツァルト、ベートルズまで幅広く演奏するグループレッスンで、初心者から上級者まで指導をしています。お琴の魅力は、日本独特の音色だと思えます」と澤さんは話す。澤さんは現在、「一緒に琴の音色を楽しみませんか」と、レッスン生を募集している。(西内)

## 日立市、水戸市、いわき市で指導

### 「箏・三絃 生田流」 澤 俊子さん



澤 俊子さん

日立市生まれの澤さんは、小学校入学前から琴を習い始めた。「公立幼稚園の抽選がはずれ入園できなくなり、祖母から情操教育にと勧められ、お琴を習い始めました」

日立市生まれの澤さんは、小学校入学前から琴を習い始めた。「公立幼稚園の抽選がはずれ入園できなくなり、祖母から情操教育にと勧められ、お琴を習い始めました」

## 洋楽器奏者とコラボも

も、日立市 観光物産協会 理事や茨城県国際女性教育振興会幹事など多彩な顔を持つ。「お琴の世界からさらに視野を広げて、いろんな人と出会い、発想を豊かにしたいんです」と、澤さんは話す。

20代前半で結婚し、主婦として子育てなどに追われたが「20代で『師範』の免状を頂くなど、お琴は好きでずっと続けていました」と澤さん。40代で沢井箏曲院に入門し、「教授」の免状を取得するまで究めた。



グループレッスン演奏会の様子。手前が澤さん

転機が訪れたのは、30年ほど前だ。日立市女性センターで行われていた男女共同参画のグループに参加していた澤さんは、同センターの企画で「個人レッスンではなく、グループで琴を教えてみないか」と提案された。「それまでもグループレッスンをした

ボランティアで演奏したほか、堀米ゆず子(バイオリン)らプロの演奏家を招き、水戸市などで「東日本大震災復興チャリティーコンサート」や「東洋と西洋のコラボレーションによる祭典」を開催した。「お琴の音色は独特ですが、バイオリン、フルートなどの洋楽器とコラボレーションすることで、お互いの音の良さが再発見できるんです」と澤さん。現在、澤俊子合奏団のメンバーは約40人。高校生から80代までの女性が中心だ。

グループレッスンや合奏団などの問い合わせは澤 802 94・53・7040